

平成29年度 総合的な学習の時間「四万十タイム」全体計画

<児童の実態>
 ○明るく元気で活力があるが、積極的に人と関わろうとする児童は少ない。
 ○与えられた課題は真面目に向かうことができるが、自ら課題を見つけ、解決しようとする段階までは至っていない。
 ○他とは異なる意見でも、自分の考えをはっきり伝えられる児童は限られている。

<教職員の願い>
 ○生活の中から課題を見つけ、自分の問題として解決できる児童
 ○自己の成長に向けて自ら学ぶ児童
 ○社会の中で活躍で来る児童
 ○自らの人生を切り開き、人生を豊かにできる児童

<学校教育目標>
 「学びを楽しみ やさしく かしこく たくましく 共に高め合う児童の育成」

<総合的な学習の時間「四万十タイム」の目標>
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の学習材(人・もの・こと)に関わる総合的な学習を通して、地域の諸課題やその理由を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、次の資質・能力を育成する。
 (1)学習材(人、もの、こと)に関わる探究的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の自然や歴史のすばらしさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2)地域の学習材(人、もの、こと)の中から問いを見だし、その解決に向けて話し合ったり、調査をして得た情報をもとに考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明確にしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3)地域の学習材(人、もの、こと)についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

<地域の特徴や実態>
 ○自然環境に恵まれ、すぐそばには四万十川がある。
 ○商業地であり、大型量販店や大衆人気店舗、自動車販売会社等も多々ある。
 ○新興住宅地が開け、四万十市の中でも最も人口が多い地域である。
 ○人の入れ替わりが頻繁で、つながりが弱い面がある。
 ○「わたり会」を中心に地域の学校への協力体制が整っている。

<保護者の願い>
 ○学習したことをしっかり身に付けてほしい。
 ○行動に責任をもてる人になってほしい。
 ○自分が育った地域に誇りを持ち、地域のために活躍してほしい。
 ○自らの人生を切り開き、社会の中で活躍してほしい。

《具同小学校・中村西中学校でめざす子どもの姿》
 ふるさと具同、四万十市、高知県を愛し、21世紀を創造し、生き抜く人材を育てる

生活科学学習(自然とふれあう)	探究課題	身近な自然環境の尊重と保全意識				中学校総合
	学年	3年生	4年生	5年生	6年生	
	学年の探究テーマ	自然と親しむ 地域の自然に主体的に関わり地域のよさに気付くこと	自然を見つめる 四万十川に主体的に関わりその良さを保全したいという思いを持つこと	自然を生かす 四万十川の恵みに気付く食の視点からその良さに気付くこと	自然をほりおこす 四万十川に生まれた人々の歴史について学び、その地域のよさに気付くこと	
	学習活動と時数	●四万十大すき 具同じまん発見!(20) ●四万十大すき具同じまん~トンボ王国じまんいっぱい大すき作戦~(45) 成果発表会(5)	●みんなの宝 四万十川~守ろう未来のために~(65) 成果発表会(5)	●四万十の食で地域を盛り上げ隊(45) ●大切な新1年生のために!(20)【学校行事との関連として】 成果発表会(5)	●四万十歴史発見~未来へつなぐ歴史の語り部~(55) ●戦争と平和について考える(10)【平和学習の関連として】 成果発表会(5)	

育てようとする資質・能力及び態度

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 各地域ではそれぞれの環境が異なり、人々の暮らしもそれに合わせて変化していること。 人々は地域の自然とうまく共存し自然の中から得られる産物を利用して生活していること。 地域の暮らしは、長い時間の中で人々が繋がり形成された風土や文化の上に成り立っていること。
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> これまでの様々な体験や問題状況から新たな課題を設定することができる。 多様な情報を収集したり、情報の手段を目的に応じて選択したりすることができる。 課題解決のために収集した情報を整理し、比較したり、関連付けたりしながら分析することができる。 相手や目的、意図に応じ、調べたことを分かりやすく伝えるための方法を考え、構成を工夫してまとめ発表することができる。
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場や意図を考えながら話し合うことを通して、他者の意見を受け入れ、誰とでも協力して課題を解決することができる。 地域環境や人々の生活に興味や関心を持ち、課題解決のために地域と進んで進んで関わることができる。

《指導における4つの柱》

指導方法	指導体制と地域の教育資源の利用	各教科・領域との関連方針	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 児童の課題意識をつなげ新たな課題を生み出す支援 個に応じた支援 児童が諸感覚を使って試行錯誤できる体験活動の工夫と体験の意味の自覚化 考えるための技法を活用した自主的、主体的な授業展開 協働する活動が生まれる学習展開 学びと評価の一体化の充実 言語活動を適切に位置付けた指導過程・指導形態・指導方法・発問の工夫 子ども達の主体的な活動を認め、自尊感情に働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材や学習材の洗い出しと整理(社会に開かれた教育課程) 関係機関との連携、専門的な知識や情報の蓄積 家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ楽しさを味わう教科等の授業づくり 教科等で身に付けた知識が総合で生かされる授業づくり 生命尊重や思いやり等道徳教育や人権教育、自主的・実践的な態度の育成等特別活動との関連、指導時期を考慮した指導 情報収集、調べ学習における図書館教育・情報教育の活用と充実 	<ul style="list-style-type: none"> 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 自己評価・他者評価・ポートフォリオ評価を重視する 学びと評価の一体化の充実 育てようとする資質・能力及び態度に基づく評価(自己評価を含む)